

JASO発 暮らしつづける街へ(Part 2) <第33回>

2023年度 JASO 賞審査結果

①貢献実績賞「JASO 段階補強のリーフレット作成」 あきらめないで 大地震のとき 命を守る 段階補強

軽石実一級建築士事務所 所長

軽石 実



2020年に始まったJASO 表彰制度は2023年度で第4回を迎えました。2023年度のJASO賞は、前年と同じく応募期間を7月下旬～10月末、審査期間を11月～2024年2月として行いました。最終的には優秀建築賞には3点の応募があり、貢献実績賞には1点の応募がありました。審査に当たっては、独立した審査委員会を設置し、ヒアリング、現地審査を経て選考を行い、優秀建築賞1点と貢献実績賞を選出しました。今回は貢献実績賞を、次号にて建築優秀賞をご紹介します。

2023 JASO 貢献実績賞 「JASO 段階補強のリーフレット作成」

■審査講評

「JASO 段階補強リーフレット」の作成・配布を通じての段階補強の推進である。作業は軽石実氏を委員長とする「耐震段階補強委員会」の活動成果として、平成30年5月にリーフレットを作成し、各行政に配布している。委員会にはオブザーバーとして、東京都・杉並区・大田区・住宅金融支援機構・三和アルミ工業(㈱)が参加しており、段階補強の提案・PRがスムーズに役所に浸透する効果があったと思われる。成果として、いくつかの行政機関において段階補強が助成対象として認められるようになったことは、受賞対象に値すると考えた。

■耐震化促進等への貢献実績内容

- 平成30年3月に段階的耐震補強に関する検討報告書をまとめる。

報告書作成にあたり、段階補強の取り組みを行政にヒアリングする。

- 平成30年5月にリーフレットを作成し、東京都から各区に連絡してもらいリーフレットを配布する。東京都、杉並区、大田区が委員会にオブザーバーとして参加し段階補強助成が広まる。またそれに加え中央区、新宿区などが段階補強助成を始める。
- 令和2年4月段階補強を行っている行政と、管理組合へのヒアリングをし、段階補強実施結果報告書を作成。
- 耐震段階補強により、耐震改修が進まない要因である資金面の改善および耐震化への住民の関心を向上させ、出来るだけ耐震改修を進める手助けとなるよう働きかけをする。耐震段階補強委員会でリーフレットの作成時に、オブザーバーで参加された東京都、杉並区、大田区および住宅金融支援機構の方々にいろいろなアドバイスを頂く。一緒に段階補強を考えるようになり、東京都の特定緊急沿道建物の助成制度でI s 値が0.3未満の建物の助成が手厚くなり、ピロティ階の補強に対しても補助金が出るようになる。また、住宅金融支援機構で段階補強に対しても有利な金利で融資が受けられるようになる。
- 委員会では、地震被害写真による被害要因項目、および耐震性能項目による地震被害類型の分類表の作成、ならびに耐震性能評価のまとめ方を検討し、第2弾のリーフレットを検討中。

◎成果物 「段階的耐震補強に関する検討報告書」

- 1章 段階補強検討の背景
- 2章 耐震改修の必要性
- 3章 耐震改修を進める上での課題

- ・4章 設計者から見た耐震段階補強
- ・5章 第三者評価の立場からの耐震段階補強
- ・6章 耐震段階補強事例
- ・7章 大規模修繕と耐震補強

- ・8章 段階的補強行政の取組み状況、
 - ・9章 段階的補強助成についての考察
- ◎成果物「段階補強のリーフレット」
あきらめないで 大地震のとき 命を守る 段階補強

『耐震』のご相談は耐震総合安全機構(JASO)へ

私たちJASOは、阪神・淡路大震災を契機に2004年に内閣府の認証を受け設立された難題関係の専門家で組織するNPO(特定非営利活動法人)で、難題と地域の耐震安全性の向上に取組んでいます。

JASOの主な活動は、以下の通りです。

- 耐震化促進に向けた調査・研究
耐震化を進めるための調査・研究を行っています。「段階的補強」もその研究の一環です。
- 耐震セミナーの開催
自治体などと連携してマンションの耐震セミナーを開催しています。
- 耐震化支援
個々の建物の耐震化に向けた実践的活動です。無料相談を始め、専門家(耐震アドバイザー)の派遣から耐震診断まで、管理組合の現状状況に応じた対応を行っています。
- 具体的な相談などは、下記のJASO事務所にご連絡ください。

自治体などの助成と融資
既に段階補強助成に取組んでいる先進的な自治体があります。助成の有無など詳しくは各自治体の耐震担当部署にお問い合わせください。

- 段階的補強に対する助成を行っている自治体(東京都)
 - ・杉並区：市街地整備課 03-3312-2111(代表)
 - ・大田区：防災まちづくり課 03-5744-1349
 - ・墨田区：防災まちづくり課 03-5608-6269
 - ・中央区：防護課構造係 03-3546-5459
- 他の、横浜市、名古屋市、京都市、神戸市なども段階補強助成を行っています。

○段階的補強に対する融資
住宅金融支援機構は、自治体の助成制度に合わせた融資を行っています。
マンション共同用部リフォーム融資 03-5800-9366

JASO 特定非営利活動法人 (N.P.O.) 耐震総合安全機構

本 部 平112-0013
東京都文京区春日1-29-10 PAL春日ビル7階
TEL: 03-6912-0772 FAX: 03-6912-0773
E-mail: info@jaso.jp HP: http://www.jaso.jp

近畿支部 平141-0011
大阪府大阪市中央区北中島町2-5-9 総理会館4階
(公社)日本建築家協会 近畿支部内
TEL: 06-6229-3371 FAX: 06-6229-3374

東海支部 平644-0075
愛知県名古屋市千種区内山1-17-17
TEL: 052-733-2887 FAX: 052-733-2481

●本拠地図：横浜市（JR横浜駅周辺）
2018年3月

**JASO 段
あきらめないで 階
大地震のとき 補
命を守る 強**

地震だあ～

ビーバーも耐震工事中

特定非営利活動法人 (N.P.O.)
耐震総合安全機構
Japan Seismic Safety Organization

○段階的補強なら耐震化に取り組めます

耐震補強は、敷地面積に分けて行う段階的補強には以下のようなメリットがあります。

- 十分な資金を用意しなくても「耐震」に取り組める**
いよいよ耐震化を進めるよとなると多額の費用がかかる耐震補強でも、段階的補強なら組合の資金に応じて耐震化を進めて行くことができます。
- 管理組合全体で合意できる補強がある**
専用部分に併らない補強から始めることができますので、管理組合内の様々な意見をまとめてやすくなります。
- 補助金を受けなくても補強はできる**
様々な理由から自治体の助成が受けられない場合でも、組合の資金力に応じて補強を行っていくため耐震化に取り組むことが可能になります。
- 計画修繕に合わせて「耐震」を考える**
定期的に計画されている大規模修繕の時期に少しづつ耐震改修を行うことで、無理なく、効率よく補強を進めることができます。
- 建替えを検討しても最低限の補強は必要**
建替えを考えているマンションでも何もないのは不対応です。いつ来るかわからない大地震に備え最低限必要な補強を行っておこなうことが居住者の命を守ることになります。

○耐震補強はしたいのだけれど・・・

QUESTION ANSWER

- お金**
古いマンションだから地盤に心配。資金がないし、長期修繕計画に「耐震補強」の工事がありません
十分な資金がなくても耐震化に取り組めます
- 使い勝手**
耐震補強すると部屋の使い勝手が悪くなるから、補強に反対する人がいるうだね
管理組合全体で「合意できる補強」から始めましょう
- 合意形成**
大規模修繕工事が控えているし、管理組合の意見がまとまるかしら
計画修繕に合わせて「補強」を考えましょう
- 相談相手**
管理組合に建築に詳しい人がいないし、そもそもどうしたら良いやら
専門家に相談してみませんか。一回の「補強」ではなく、段階的(部分的)に補強を進められます!

QUESTION ANSWER

(1) 建物の骨組構造(鉄骨フレーム)
(2) 鋼管の接合部
(3) 鋼管の接合部
(4) 鋼管の接合部
4箇の段階補強で安全(Ls値0.6以上)を実現

部分補強の事例です。
一回の「補強」ではなく、段階的(部分的)に補強を進められます。

自分のマンションをチェックしてみましょう

建設時期が、昭和56年5月以前（旧耐震基準）の建物が対象となります。
以下のチェックは今までの震災の経験から被災の多くが見られた注意点です。
1つでも該当するものが有れば専門家へ相談して下さい。
また、柱壁にひびれや崩が発生している箇所が有れば、構造体の調査・検査が必要です。

建設されたのは昭和56年5月以前?
例文: 購入時のパンフレット・建設時の申請書・図面等で確認ができます。
 Yes No

1階に駐車場、店舗がある?
 Yes No

壁が一部に偏っている?
 Yes No

建物の形が、L型・C型をしている?
 Yes No

建物にセットバックがある?
※上の階が下の階に比べ面積が小さくなっている。
 Yes No

柱のそばに窓などの開口がある?
 Yes No

旧耐震建物が地震に弱い理由

昭和56年6月に建築物の耐震設計基準が改正されました。
新基準に則らずと、昭和56年5月以前の旧耐震基準の建物は

- ・震度6強の大震震で倒壊する可能性がある。
- ・中高層建物の中間階以上の耐震性が低い。（右図）

 という大きな問題点を抱えています。
その他にも、次のような問題点が指摘されています。

ビロディは地震に弱い
1階が駐車場や店舗など壁の無い広い空間をビロディと言います。マツダの「アコス」やトヨタの「セリカ」では珍しくなる。上階が壁障壁に接する低層部の耐震力をまだ弱められません。1階の柱が壊れて落倒し、ベランダになってしまった事例もあります。

壁の偏在で建物がねじれる
ダンボール箱の側面に大きな穴をあけると柔らかく傾くなりますが、建物も同様で耐震性は弱くても、柱だけのところは柔らかくなる。柱の位置が偏在すると、柱間に偏在する部分に傾きが生じる。壁だけの方が大きさ変形で建物はねじれます。そして変形の大きくなった箇所が壊れやすくなります。

L字形の平面やセットバックの激しい立面もねじれやすい
複数面も同じ方向も長いL字形は、建物の各面が互に固定しない構造で、地震の揺れを吸収する能力が弱い。そのためねじれが起こります。しかし、柱や壁や梁で拘束されると小さな変形ができます。柱の強度を確保すればねじれが止まります。

柱短柱は最初に壊れる
柱は耐震力が弱い上に下の床の荷重でなくなりに変形して柱を倒します。しかし、柱の強度や梁の剛性をもとめたりなど必要な補強を行なうことで倒壊を防ぐことができます。柱の強度を確保すればねじれが止まります。

見積り依頼

専門家などに耐震診断の相談
自体などに相談してみましょう。費用負担もあります。

建物の弱点を把握
弱点がわかったら、弱点をどうやって補強すればいいのか、次のステップで検討しましょう。

補強の仕方を検討
どんな補強ができるか、費用はどのくらいかかるか、費用対効果などを検討してはどうでしょうか。

構造計算を行い工事発注用の図面を作成
長崎県建設局を見直しながら、危険性の高い部分や工事のやり方分野別に検討して補強計画をしてはどうでしょうか。

見積り依頼
図面の主眼を切り工事費を算出しましょう。

部分補強・段階的補強工事の例

耐震補強は出来ないと思っていても専門家から見れば補強ができる場所は意外とあるものです。補強に関する費用を専門家と相談し可能であれば少しでも補強を行いませんか。

① 鉄骨プレース補強
耐震性の補強と同じ効果がある補強方法です。
壁より大きい空間が確保できます。
ビロディの耐震性を改善します。

② 増設壁補強
壁のあがいた所にコンクリートの壁を作る補強方法です。
補強効果は大きさ費用は比較的低く抑えられます。
壁の現在を改善する方法です。

③ 柱鋼板巻き補強
柱の耐力などの増加に効果がある補強方法です。
補強に必要なスペースは柱の周囲だけです。
1階の車庫や店舗などに設置する事例があります。

④ 開口閉塞
窓などを塞ぎて耐力を強くする補強方法です。
耐震性として耐力を増やさることができます。
利用度の低い窓を塞ぐ事例が一般的です。

⑤ 脚鋼スリット
柱の耐力を改善します。
柱の柔軟性を持たせることができます。
床下などにある横長な窓の下に設置する事例が一般的です。

COST

部分補強費用の目安

④ 開口閉塞 100万円～
① 鉄骨プレース補強 300万円～(1構面)
③ 増設壁補強 200万円～
⑤ 柱鋼板巻き補強 100万円～
⑥ 脚鋼スリット 30万円～
その他、板設置や塗装費が掛ります。

構造補強時に望まれる給水設備改修工事

大震災時に漏水を起さない給水設備とする絶好のタイミングです。

引込部
ポリエチレン管を使用し3方向（上下・左右）の変位を吸収することで管の破損を防ぎます。

受水槽・高水槽の基礎
柱と一体の基礎とし、管台・水槽の移動・軋削を防ぎます。

エキスパンションジョイント部
回転式把手を使用し3方向（上下・左右）の変位を吸収し、管の破損を防ぎます。

計画的にメンテナンスを続け、建物を長持ちさせていきましょう!

まとめ
きちんと見解し、誰が立てる会社か、後のための費用をかからず大切です。

工事記録を必ず残しましょう
おまかせして、料金請求書の記載がつく
第一回アクリア!!
次はいよいよ最終的な耐震改修ですね。大型骨格構造や壁面改修に合わせて、専門家に改修して下さい。

段階補強完了
大型骨格改修と併せて最初の初期工事を行いました。お問い合わせ上工事でした。

耐震マーク取得・免税・減税の申請手続き
最終目標クリア!!
都市計画税・固定資産税の減税措置を受けられることがあります。また、購入者からローン融資を受けられるかもしれません。手続きについてご相談をおきましょう!

パンフレットは JASO ウェブサイトからダウンロードできます。